

あずま
東つよしの
ま

市長が答弁

ペット霊園のルールづくりへ

6月市議会の東市議の質問に対する答弁で、市長はペットの火葬場や墓地、納骨施設など「ペット霊園」の設置について「市としてルールが必要。調査研究を進めていく」と基準作りを表明しました。

市を動かした住民運動

4月末に南区築港新町の市街地のだ真ん中にペット火葬場を含む霊園の建設計画が持ち上がりました。住民のいち早い反対運動で撤回させることができましたが、ペット霊園設置のルールがないことも問題になりました。こんなことを繰り返してはな



奔走西走

岡山空襲の日

平和の思い新たに

6月29日は岡山空襲から69年目の「岡山平和の日」です。東市議は市の戦没者追悼式に参加しました。市戦災遺族会の太田宮子会長は追悼のことばの最後に「手向けの言葉」として憲法九条を

読み上げました。戦争で味わった苦労と平和の願いのあふれるものでした。

政を動かしました。

ペット霊園については東市議の質問後、礪谷市議、川本市議もとりあげました。

請願は趣旨採択に

請願について、共産党の議員は議会としての明確な意思表示である「採択」を求めました。しかし他の会派の議員は弱い意思表

示の「趣旨採択」を主張、最終的に一歩でも前進させるためにと趣旨採択に同意しました。

今後、市が基準作りを検討し、条例あるいは要綱の案として議会に示すことになりそうです。住民生活が守られるだけの基準がつけられるよう、住民と議会が力を合わせて市に求めることが必要です。

です。「マキオレ」というグループの歌は盛り上がりました。「集団的自衛権じゃなく、俺たちは平和を楽しみたいんだ」とトークしていました。

夜は若者達の開く「ピースキャンドル」(写真)です。ろうそくを灯して追悼



この間、シテイミュージアム内の岡山空襲展示室で「岡山戦災の記録と写真展」が開かれました。市民が防空体制に組み込まれていった展示です。市立の空襲展示室は、共産党市議団が繰り返し設置を求め、一昨年実現したものです。

市議会質問ダイジェスト



東市議は6月16日に個人質問を行いました。

一、食育と地産地消について

岡山市の給食は地元農家から食材を仕入れておいしいと評判です。担っているのは全ての学校に配置されている栄養士です。しかし正規栄養士が待遇の悪い臨時に置き換えられ、経験もないため退職栄養士がアドバイスについている状況です。給食の地場産品の使用は農業委員の協力がはじまる

一方で、現状40・2%なのに食育推進計画の目標は40%以上と、後退しても達成できる低さです。

○東「栄養士の全校配置を守り、正規栄養士の採用をおこなうべき」

●当局「栄養士は必要な職業。来年度までの計画では退職不補充」

○東「農業委員会の努力は」

●当局「操南、芳泉、山南中学校区でおこなった。実施地区をふやしながらとりくむ」

○東「地場産目標40%は低くないか」

●当局「見直しの際に検討する」

二、無料低額診療の普及について

所得の低い人でも無料や安く病院にかかることができる制度「無料低額診療」が市内7病院7診療所で受けられます。しかし薬代は院内処方病院ではかからない

のに、院外の薬局ではお金がかかるなど、制度に問題があります。制度自体の周知も十分ではありません。

環太平洋連携協定(TPP)に参加すると、アメリカ型ルールの押し付けで保険がきかない医療が増え、医薬品が高騰しかねません。

○東「市HPなどで無料低額診療の周知をできないか」

●当局「協議を行っていきたい」

○東「高知市などのように薬代の補助はできないか」

●当局「困難と考える」

○東「TPPに市として反対するべきでは」

●当局「国の動向を注視する」

三、ペット霊園設置のルールについて

東市議は築港新町のペット霊園計画に反対する住民運動を紹介し、「平穏な住宅地での生活が突然脅かされ

かねないという事実には思いをいたし、火葬場や葬祭場の設置基準を決める時。納骨施設、墓地をもうけるのに規制が必要」と市に迫りました。市長はルール作りをすすめるかと答弁しました(1面参照)。

○東「基準は許可か届出か。市民がモノを言えるよう許可基準にして」

●当局「検討していきたい」

つづいて

岡山市では障害者が65歳になると、介護度5でないと介護保険の範囲内に介護が制限され、サービスが減る問題があります。6月市議会でも改善を求める陳情が出され、賛成多数で採択されました。繰り返し質問してきました。市の真剣な対応を望みます。(東つよし)